



高槻だより

高槻小学校学校教育目標
「心豊かで 自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

高槻っ子スローガン



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

あけまして おめでとうございます。

本年も、どうぞよろしくお願ひします。



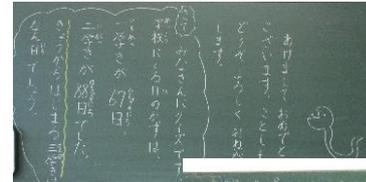
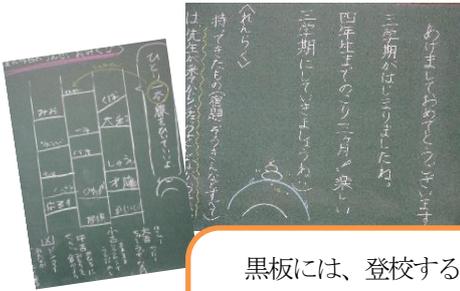
8日、3学期始業式を行いました。数名、風邪でお休みの児童もいましたが、皆が元気に3学期を迎えられたことを、うれしく思っております。充実した冬休みを、過ごされたでしょうか。

2学期末には悲惨な事件を受け、登下校の見守りではご協力いただき、ありがとうございました。地域、保護者の方々が一丸となって子どもたちの見守りを行っていただいたことに、感謝申し上げます。

北九州市では10日まで、安全パトロールの継続を行うようになりました。引き続き、保護者、地域の皆様の見守りをどうぞよろしくお願ひします。学校でも登下校の見守り、登下校時の注意や放課後の遊び方など、指導助言していきたいと思ひます。

さて、「巳」年は、蛇が脱皮するイメージから「さらなる成長と変革」という意味があるそうです。頑張ってきたことや挑戦したことで成長がみられ、大きな変化が現れるという前向きな意味の年でもあります。また「巳」を「実」にかけて、実を結ぶ年ともいわれるようです。つまり、何かに頑張ったり、何かに前向きに取り組んだりするには、大変良い年なのです。始業式にはこの話を子どもたちに伝えました。3学期はとても短く、学校に来る日は50日ぐらいしかありません。この短い学期を、一日一日大切に過ごしてほしいと思ひます。そして、子どもたちの大なる挑戦と成長を期待したいと思ひます。

3学期も、保護者や地域の皆様にご理解ご協力を得ながら、頑張ります。どうぞ、よろしくお願ひします。



黒板には、登校する子どもたちを、担任の言葉とかわいらしい干支の絵や楽しいおみくじなどが出迎えていました。

始業式の後、それぞれの学級では、担任より話があり、子どもたちと新年の抱負や、3学期の目標など話し合われていました。

バイオリンコンサート・・・優雅なひと時でした。

12月20日(金)に、北九州市立響ホール主催によるバイオリンコンサートを、本校で行いました。2校限定に当選してのコンサートでした。バイオリニストの奥村 愛さんと、ピアニストの小澤 佳永さんが来校してくださいました。4年生で鑑賞曲に指定されているサン＝サーンスの「白鳥」や「G線上のアリア」など、優雅なクラシックを聞かせていただきながら、バイオリンの楽器の紹介や、曲のイメージをもとにしたクイズなど、多様に楽しませていただきました。子どもたちは、生演奏を前に「素敵できれいだった」「初めてバイオリンのコンサートを聞いた。迫力があつた。」「知らない曲もあつたけど、クラシックはいいなと思った。」「音楽室にはってある作曲家の名前を知れてよかった。その人の(モーツァルト)曲が聞けて良かった。」「ピアノとバイオリンがすごく合っていて、さすがだと思った。プロは違うなと思った。」など、全校児童がさまざまに感想をのべていました。皆、本物に触れて感動したようです。

このような機会を、これからもつくれるとよいなと思ひました。

